

# 原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2025/07/07号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



## 【現状確認】



## 65ドル水準で下げ一服、安値の動き

NY原油先物相場は、1バレル=65ドル水準で売買が交錯した後、67ドル水準まで値上がりする展開になった。中東地政学リスクの緩和評価に上値を圧迫されるも、米原油在庫水準の低さ、株高・ドル安環境に下値を支えられ、65ドル水準で下げ一服感を強めていた。7月2日には、イランが国際原子力機関（IAEA）に対する協力停止を発表したことで、一時67.58ドルまで急伸したが、67ドル台では上げ一服となった。ただし、7月6日に石油輸出国機構（OPEC）プラスが8月の大規模な減産縮小（＝増産）を合意するとの観測で売り込まれることもなく、67ドル水準を維持して独立記念日の連休入りした。

イランは、IAEAがイスラエルと米国によるイラン核施設への攻撃を批判しないことに反発し、IAEAへの協力を打ち切った。これによってイランからは検査官が退去し、イランと米国の核協議などへの影響も警戒される状況になっている。改めて中東情勢の先行き不透明感が高まったことが原油相場の反発を促したが、最近の急落地合に対する修正高に留まった。

米エネルギー情報局（EIA）発表の米石油在庫（6月27日時点）は、原油が前週比385万バレル増、ガソリンが419万バレル増、石油精製品が171万バレル減となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

## 原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

## 【展望】

## 60ドル台中盤で売買が交錯しやすい、通商環境には要注意

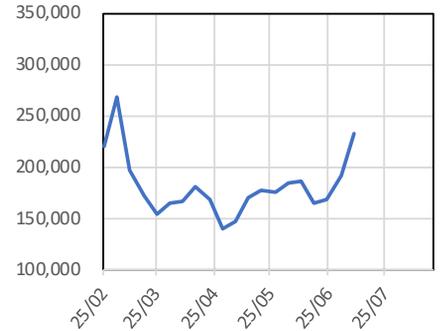
中東地政学リスクの評価が進み、マーケットの関心は改めて需給環境に向いている。ただし、その需給環境の強弱評価が割れているため、目先は60ドル台中盤で売買が交錯しやすい。石油需要の伸び鈍化、石油輸出国機構（OPEC）プラスなどの増産対応を受けて、国際原油需給は緩和見通しが維持される。世界的な在庫積み増し圧力が続く見通しであり、中期価格リスクは下向きになる。ただし、米国内原油在庫が過去5年レンジの下限付近に留まっていることもあり、WTI原油期近限月の下落余地は限定され、60ドル台中盤での居心地が良い。

上昇リスクとしては、イラン情勢に注意が必要。イランから国際原子力機関（IAEA）査察官が退去したが、イスラエルと米国がイランに対して強硬姿勢を見せると、改めて軍事衝突が発生するリスクが警戒されよう。ただし、今週は日程が未定だがノルウェーで米国とイランが核協議を再開する予定が伝わっており、通商協議の継続が合意できると、地政学リスク織り込みの必要性は薄れていく見通し。

一方、7月9日にトランプ米大統領の「相互関税」上乗せ分の一時停止措置が終了する。このため、通商環境が大きく揺れ動く可能性があることに注意が必要。トランプ大統領は関税引き上げで交渉の進展を促す意向とみられ、通商リスクの織り込み再開でリスクオフ化が促されると、原油相場も60ドル台前半まで軟化する可能性が高まる。

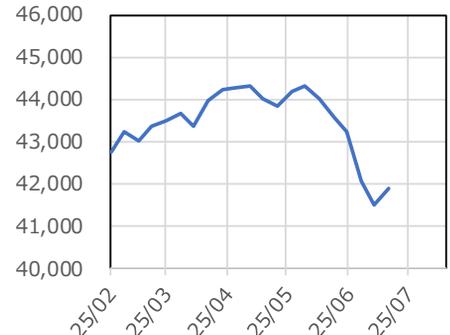
7月11日には国際エネルギー機関（IEA）月報が公表される。供給過剰見通しが維持されるかに注目したい。また米原油在庫の水準が低いため、9日に発表される米週間石油在庫統計もイベントリスクになる。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



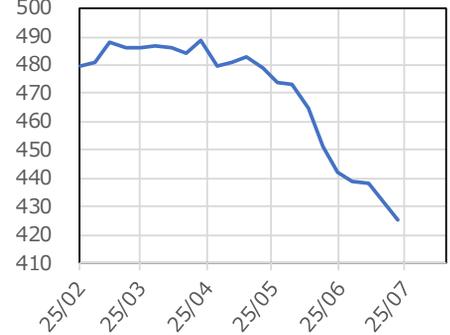
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

## 【ディスクレーム（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 [info@marketedge.co.jp](mailto:info@marketedge.co.jp)

### 小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は  
ツイッターで

